

【報道関係各位】

第二回 番号ポータビリティ制度利用意向調査

“ 制度開始直後 ” 携帯電話キャリア変更意向の変化

～ソフトバンクモバイル社の新料金プラン発表後、携帯ユーザのキャリア変更意向は変化したか？～
MNP 制度開始直後「キャリア変更したい」は横ばい、「分からない」が7%増加し37%
“ 携帯キャリア各社の今後の展開をみて判断したい ”

2006年10月27日

株式会社マクロミル（東証一部 3730）

インターネット調査会社の株式会社マクロミル（本社：東京都港区、社長：辻本 秀幸）は、10月24日（火）から始まった「番号ポータビリティ制度（MNP）」について、制度開始直後の10月25日（水）23:00～10月26日（木）15:30、携帯ユーザのキャリア変更意向がどのように変化しているかを調査いたしました。調査手法はインターネットリサーチ。調査対象は全国15歳以上の携帯電話ユーザ、有効回答数は1,030名から得られました。

マクロミルは、制度開始直前の10月17日・18日に第一回目の「番号ポータビリティ制度の利用意向調査」を実施しています。制度開始直後の今回調査結果と、制度開始直前の前回結果との比較を行い、携帯ユーザの意向変化を調べました。

【 調査結果概要 】**【1】 MNP制度開始直後「キャリア変更したい」は横ばいの5%、「分からない」が7%増加し37%。**

10月24日に開始したMNP制度を利用して携帯電話会社（以降、キャリア）を変更したいと思うか尋ねたところ、調査日10月25日・26日時点で、「キャリア変更したい（既に申し込んでいる）」という回答は5%にとどまり、「変更したいと思わない」が58%、「分からない」は37%という結果でした。

制度開始直前の前回調査（調査日10月17日・18日）では、同質問において「キャリア変更したい（既に申し込んでいる）」7%、「変更したいと思わない」が63%、「分からない」は30%という結果でした。

制度開始から間もないタイミングではあるものの、今回の結果では、「キャリアを変更したい」はほぼ横ばい（前回からの変化は1%台）であるのに対し、「変更したいと思わない」が5%減少、一方で「分からない」という回答が7%増加しています。キャリア変更をするかどうか迷う携帯ユーザが増加していることが伺えます。

【2】 キャリア変更希望者（5%）の変更先希望トップは「ソフトバンク」44%と変化

キャリアの変更を希望する人（5%）に、どのキャリアに変更したいか尋ねると、「ソフトバンク」が44%と、最も高い結果となりました（前回調査では19%。25ポイント上昇）。前回調査でキャリア変更先希望のトップだった「au(KDDI)」が52%から31%に減少、「NTTドコモ」は19%から9%に減少しました。

【3】 キャリア変更するか「分からない」理由、「携帯各社の展開をみて判断」が47%

「キャリアを変更したいと思わない」と回答した人（58%）の理由は、「現在のキャリアに満足している」が72%と最多でした。

「分からない」という回答者（37%）は、契約変更手数料がかかる（58%）、メールアドレスが引き継げない（52%）などのキャリア変更阻害要因に加え、「今後の携帯キャリア各社の展開をみて判断したい」を約半数の47%が理由にあげています。23日にソフトバンクモバイル社が新料金プラン発表したことから、キャリア各社の今後の展開を期待して、様子を見ようとする携帯電話ユーザが増加しているようです。

「第2回 番号ポータビリティ制度に関する調査」 【調査結果詳細】

調査概要

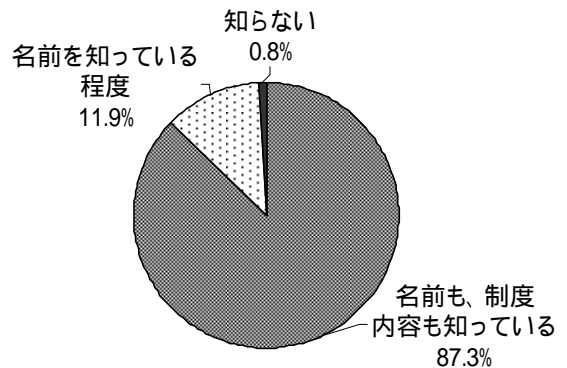
調査方法:	インターネットリサーチ
調査地域:	全国
調査対象:	自分名義の携帯電話を所有している、15歳以上のマクロミルモニタ会員
有効回答数:	1030 サンプル
調査日時:	2006年10月25日(水) 23:00 ~ 10月26日(木) 15:30
調査機関:	株式会社マクロミル

番号ポータビリティ制度の認知 99%

10月24日(火)から開始された「番号ポータビリティ制度」を知っているか尋ねたところ、99%の人が「知っている(名前も制度内容も知っている+名前も知っている程度)」と回答しました。

携帯ユーザのほぼ全員が制度を認知している状況がわかりました。

Q. あなたは、2006年10月24日(火)から開始した「番号ポータビリティ制度」をご存知ですか?
<ベース:全員 n=1030>



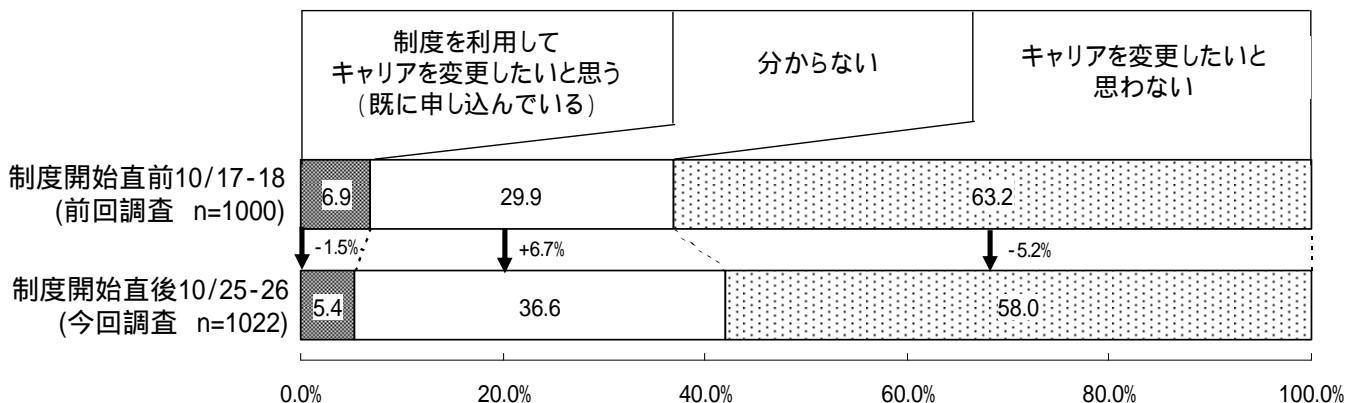
MNP制度開始直後「キャリア変更したい」は横ばいの5%、「分からない」が7%増加し37%。

10月24日から開始された番号ポータビリティ制度を利用して携帯電話会社(以降、キャリア)を変更したいと思うかどうか尋ねたところ、調査を実施した10月25日(水)23:00~10月26日(木)15:30時点で、「キャリアを変更したい(既に申し込んでいる)」という回答は5%にとどまり、「変更したいと思わない」が58%、「分からない」は37%という結果でした。

制度開始直前の前回調査(調査日10月17日・18日)では、同質問において「キャリアを変更したい(既に申し込んでいる)」7%、「変更したいと思わない」が63%、「分からない」は30%という結果でした。

制度開始から間もないタイミングではあるものの、今回の結果では、「キャリアを変更したい」はほぼ横ばい(前回からの変化は1%台)であるのに対し、「変更したいと思わない」が5%減少、一方で「分からない」という回答が7%増加しています。キャリア変更をするかどうか迷う携帯ユーザが増加していることが伺えます。

Q. あなたは、「番号ポータビリティ制度」を利用して、携帯電話会社(キャリア)を変更したいと思いますか? <ベース=番号ポータビリティ制度認知者>

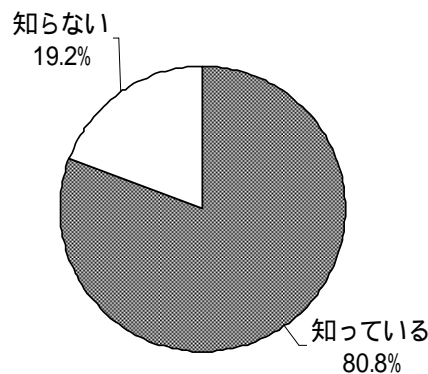


ソフトバンクモバイルの新料金プラン 「魅力を感じた」55%

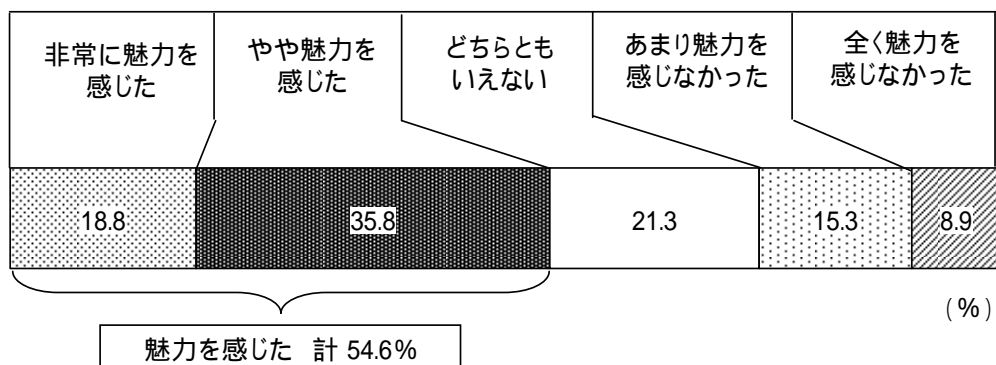
回答者全員に、ソフトバンクモバイル社が10月23日に発表した新料金プラン「予想外割」に関するニュースを知っているか尋ねたところ、8割の人が「知っている」と回答しました。

発表を知っている人に、「新料金プラン」に魅力を感じるかどうか聞いたところ、「非常に魅力を感じた」19%、「やや魅力を感じた」36%、合計55%が「魅力を感じた」と回答しました。
 (調査日時 10月25日(水)23:00~10月26日(木)15:30)

Q. ソフトバンクモバイルは、2006年10月23日に、「番号ポータビリティ制度」に向けた新料金プラン「予想外割」を26日に追加すると発表しました。
 あなたは、このニュースをご存知ですか? <全員 n=1030>



Q. あなたは、ソフトバンクモバイルの発表を聞いて、新料金プランに魅力を感じましたか? <ベース=新料金プラン発表認知者 n=832>



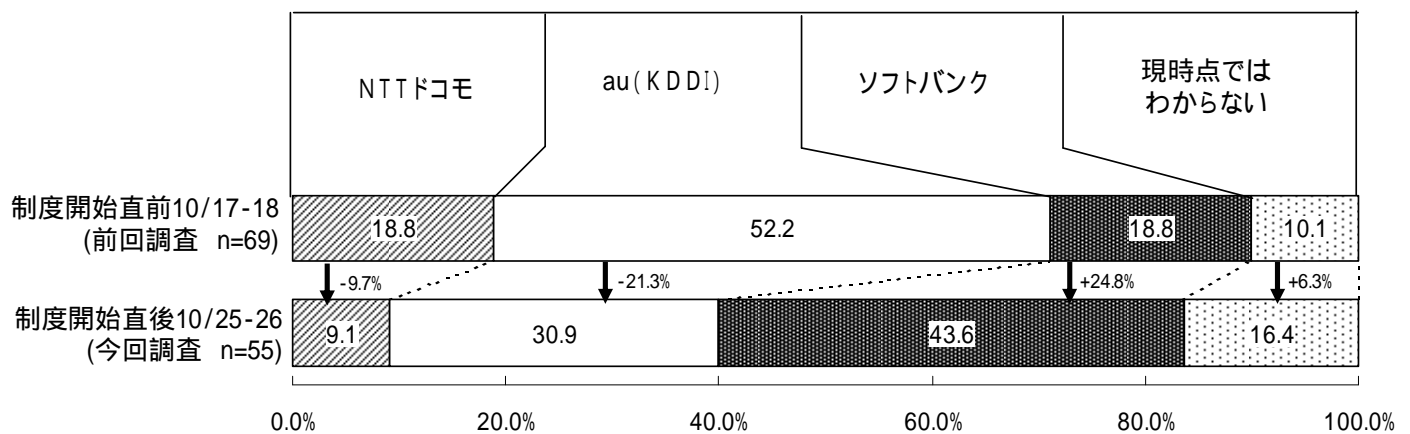
キャリア変更希望者(5%)の変更希望先トップは「ソフトバンク」44%に変化

今回の調査で「キャリアを変更したい(既に申し込んでいる)」と回答したキャリア変更を希望する人(5%、n=55人)に、どのキャリアに変更したいか尋ねると、「ソフトバンク」が44%と、最も高い結果となりました(前回調査では19%。25ポイント上昇)。

前回調査でキャリア変更先希望のトップだった「au(KDDI)」が52%から31%に減少、「NTTドコモ」は19%から9%に減少しました。

ソフトバンクモバイル社が新料金プラン発表後、キャリア変更希望者の中で、移行先希望に変化がみられる結果となりました。

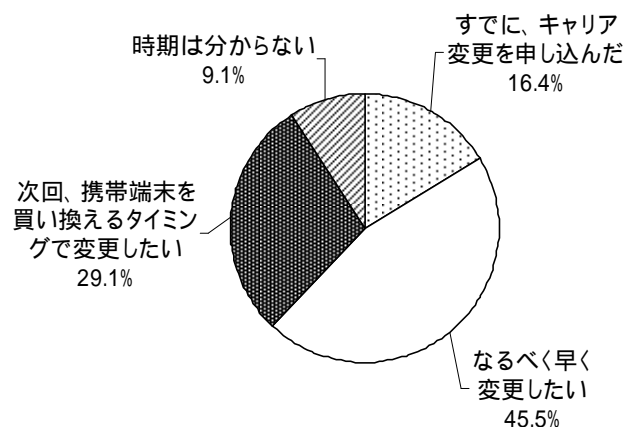
Q.「番号ポータビリティ制度」を利用して、どの携帯電話会社(キャリア)に最も変更したいと思いますか？
<ベース=キャリア変更意向者>



新キャリアへの変更「なるべく早く変更したい」 46%

今回の調査で「キャリアを変更したい(既に申し込んでいる)」と回答したキャリア変更を希望する人(5%、n=55人)に、いつキャリアを変更したいか尋ねたところ、「すでにキャリア変更を申し込んだ」が16%、また、「なるべく早く変更したい」は46%となりました。

Q.いつ、携帯電話会社(キャリア)を変更する予定ですか？
<ベース=ベース=キャリア変更意向者 n=55>



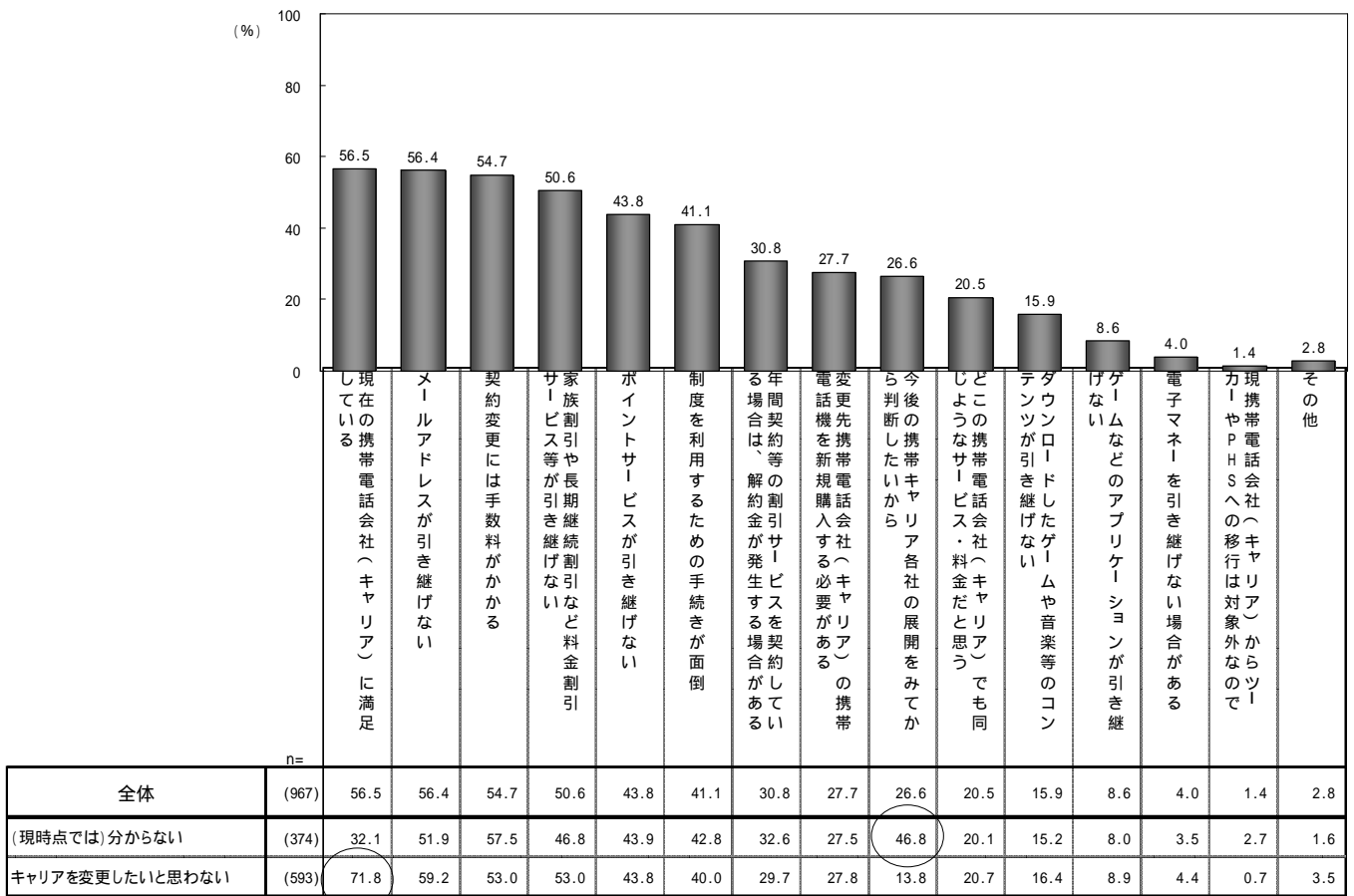
**キャリアを変更したいと思わない人の理由は、「現在のキャリアで満足」72%がトップ。
キャリア変更するか「分からない」理由、「携帯各社の展開をみて判断」が47%**

携帯キャリアを変更したいと思うかという質問に対して、「キャリアを変更したいと思わない」「現時点では分からない」と回答した 95%にのぼる、現時点で非キャリア変更意向のユーザに、その理由としてあてはまるもの全てを尋ねました。

「キャリアを変更したいと思わない」と回答した人(58%)の理由は、「現在のキャリアに満足している」が72%と最多でした。

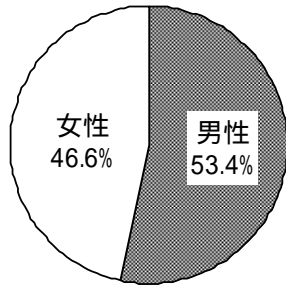
「現時点では分からない」という回答者(37%)は、契約変更に手数料がかかる(58%)、メールアドレスが引き継げない(52%)などのキャリア変更阻害要因に加え、「今後の携帯キャリア各社の展開をみて判断したい」を約半数の47%が理由にあげています。23日にソフトバンクモバイル社が新料金プラン発表したことから、キャリア各社の今後の展開を期待して、様子を見ようとする携帯電話ユーザが増加しているようです。

Q. あなたが「キャリアを変更したいと思わない」、または「現時点では分からない」と思う理由として、あてはまるものを全てお知らせください。
<ベース=キャリア変更意向「分からない」「キャリアを変更したいと思わない」>

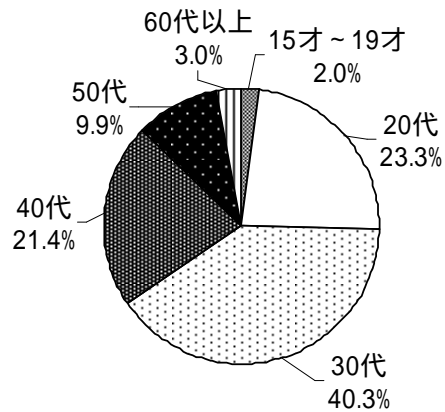


回答者プロフィール（調査対象：15才以上の携帯電話ユーザ）

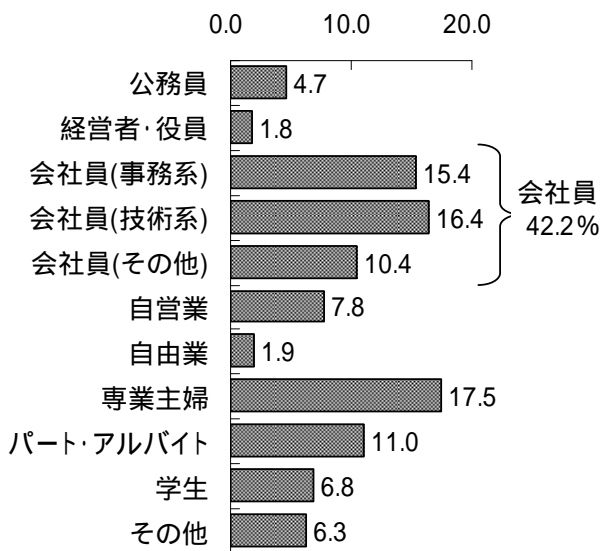
【性別 n=1030】



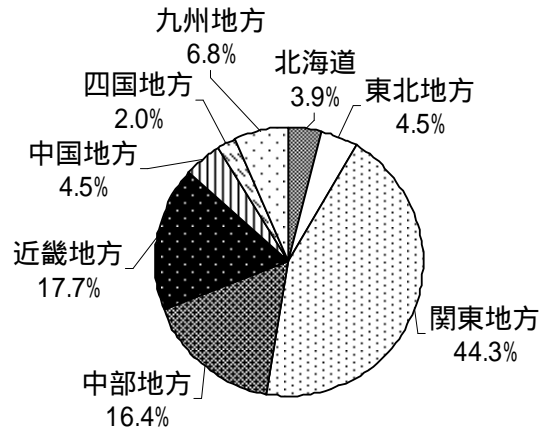
【年齢 n=1030】



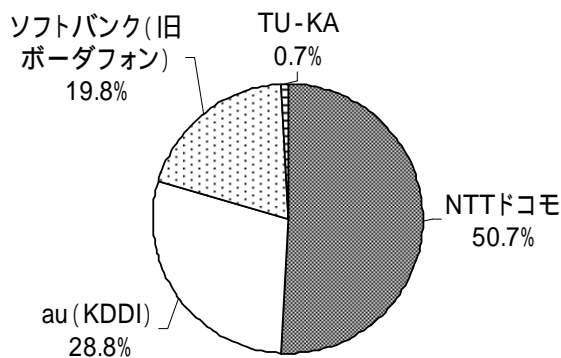
【職業 n=1030】



【居住地域 n=1030】



【現在の携帯電話会社 n=1030】



【 株式会社マクロミル 会社概要 】

株式会社マクロミルは、国内最大手のインターネット調査会社です。独自開発した自動インターネットリサーチシステム【AIRs】(Automatic Internet Research System :エアーズ)を活用し、さまざまな企業の商品やサービス等に対する消費者の声をインターネットで瞬時に集めるネットリサーチのリーディングカンパニーです。

創業4年の2004年1月、インターネットを活用した市場調査＝ネットリサーチ専門会社としてはじめて東証マザーズに上場、翌2005年4月には東証一部に上場いたしました。

国内44万人を超える消費者モニタ会員を対象に、迅速なネットリサーチを提供する「QuickMill」を主力サービスに、携帯電話を活用したモバイルリサーチ「MobileMill」、世界30カ国500万人の消費者を対象にした海外市場調査「GlobalMill」など様々な市場調査サービスを展開しています。

社名	株式会社マクロミル
本社	東京都港区港南2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075
URL	www.macromill.com
設立	2000年1月31日
資本金	8億9,738万円 2006年6月末現在
上場取引所	東証一部 (証券コード:3730)
代表者	代表取締役社長 辻本 秀幸
従業員数	155名 2006年9月末現在
事業内容	インターネットを活用した市場調査(ネットリサーチ)

——— 本件に関するお問い合わせ先 ———

株式会社マクロミル 広報担当：西沢・関
東京都港区港南2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075
TEL:03-6716-0707 FAX:03-6716-0701 E-mail:press@macromill.com

(引用・転載時のクレジット表記のお願い)

本リリース結果の引用・転載の際は、ご連絡を上記問い合わせ先まで、ご一報頂戴できれば幸いです。また、ご利用の際には必ず当社クレジットを明記くださいますようお願い申し上げます。

<例> 「インターネット調査会社のマクロミルが実施した調査結果によると…」